

Y17a 星空案内人(星のソムリエ)資格認定制度の創設

柴田 晋平^{1,2}、郡司 修一^{1,2}、滝沢 元和^{1,2}、坂井 伸之^{1,2}、縣 秀彦³、坂元 誠⁴、大野 寛^{5,2}、佐藤 理絵²、渡邊 瑛里^{1,2}、他 星空案内人資格創成プロジェクトチーム (1:山形大学, 2:NPO 法人小さな天文学者の会, 3:国立天文台, 4:西はりま天文台, 5:山形短期大学)

星空の楽しみ方を紹介し、また、天文学の教育普及に努めている多くの方々がいる。このような活動を促進するため星空案内人資格認定制度を科学技術振興機構のモデル事業として創設し、「やまがた天文台」において実用に耐えるレベルまで整備することができたので報告する。

星空案内のために必要な幅広いスキル(天体観測の基本的知識と技能、天文学の基礎知識、星の文化にかかわる基礎知識、ボランティア等を行う際の方法)をこの資格を取ることであるレベルで保証できる。星座教室や観測観望会、プラネタリウム解説などはかなり特殊な技能と思われがちであるが、すこしばかりの興味と意欲があれば、誰でも本資格を取得して積極的にボランティア活動に参加することが可能になる。その結果、天文学の普及に参加する人口を飛躍的に増やすことができるであろう。星空案内人と呼ばれるこれらの技能を持った人々は、研究者と市民を結ぶサイエンスコミュニケーター的な役割を果たすことができる。

資格取得に際しては、上記に掲げた学習項目に関する資格認定講座を受講し、定められた単位を取得する必要がある。講演では、制度の概要、実施方法、成果、山形以外での適用の可能性について詳説する。(星のソムリエは星空案内人の愛称である。資格認定講座については別のポスター発表もあわせて参考にさせていただきたい。)